

Bridolly

text and
paintings by
Kenji Shimizu

vol. 10 月刊ブリドリー



Angel 6F



第十回

志水堅二 しみずけんじ

1971年名古屋市生まれ。オリジナルキャラクター『ブリドリー』をモチーフに絵画、立体などを制作。東西のアートフェア、画廊、百貨店などで個展多数。

オフィシャルサイト
<http://www.kenji-shimizu.com>

志水堅二展 — Merry Bristmas —

12月13日～25日、東京・京橋の京橋画廊にて2013年の締めくくりとしてドローイング、立体、タプロー等を展示。ブリドリーがクリスマスを彩ります。

一寸光陰

早いもので2013年がぼちぼち終わりに近づいている。

この時期になると「もう今年も終わり? 年々早くなっていく気がする」なんて言葉をよく耳にする。これは心理学のジャンナーの法則といって、主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者にはより短く評価されるというものだ。

50歳の1年は50分の1、5歳の1年は5分の1なので50歳の10年が5歳の1年と同等だそう。40歳になったとき60歳までまだまだ20年もあると思っていたが、この法則からすると今まで経験した20年ほど長くはなさそう。

そんなことを考えると人生行き当たりばつりのいいかげんな僕もなんだかソワソワする。が、まあ感覚はどうあれ1年は変わらず365日だ。

年齢的にも折り返し地点を過ぎ、あと何年制作出来るかは分からないが、限られた時間、腕がある限り、筆がもてる限り描いていきたい。

ただ、沢山描こうなんてつもりはない。

よく、「年間何点描いてますか?」なんて質問をされたりするのだが、正直よくわからないし数えたこともない。

我々美術家は1日何杯の人気ラーメン店や1日何個のパン屋ではない。

大事なことは数を描くことではなく「死ぬまでにいい作品を何点生み出せるか」である。

Shimizu 